

2022 JUA/AUA Resident Program 参加報告

関 戸 崇 了 (岡山大)

この度、2022年5月13日から5月16日に米国 Louisiana州 New Orleans で開催された米国泌尿器科学会 (AUA) Annual Meeting 2022 に JUA/AUA Resident Program で参加させて頂きましたのでご報告申し上げます。コロナ禍の影響で、現地開催の AUA は実に3年ぶりでしたが、幸い海外渡航のご許可を頂き現地参加させて頂きました。私自身は昨年が続いて2回目の AUA 参加で、現地参加は今回が初めてでしたが、大変貴重で素晴らしい経験となりました。コロナ禍での渡航であり、日本およびアメリカの出国時には渡航直前の PCR 検査

結果やワクチン接種証明書が必要で、学会場の入場にもワクチン接種証明書の事前登録が求められました。その他、日本帰国時の検疫での抗原検査など、様々な書類準備や検査があり大変ではありましたが、問題なく完遂でき安堵しました。ちなみに、アメリカ現地でマスクを着用している方が日本に比べ非常に少なく驚きました。特に街に出ると、ほとんどの方はマスクを着用していませんでした。

学会中のプログラムは resident や fellow 向けのものも多く、Resident Forum, Young Urologists Forum, The Great Debate などに参加しました。Young Urologists Forum では4人のパネリストが登場し、SNSをいかに泌尿器科医として活用するべきか、というトピックでの Presentation, Discussion があり、非常に興味深く拝聴しました。特に Twitter を自身の研究・論文の広報に用いたり、泌尿器科医間のネットワークを広げたりすることでキャリア形成につなげている話があり、多くの医師が Twitter を活用していることに驚きました。

学会中、特に印象に残っているのは Residents Bowl です。全米のそれぞれの地域で選出された resident 同士がチームを組み、全8チームで泌尿器科の知識を競う大会です。各チームはアメリカの resident に加え、海外からの参加メンバー (international member) が1人参加します。出題範囲は、解剖学や遺伝学などの基礎医学、症例提示による診断や治療、ガイドライン、さらに AUA の歴史や New Orleans に関する知識など、非常に多岐にわたっていました。今回私が参加した New England チームは、予選、準決勝と勝利し、なんと決勝まで駒を進めました！残念ながら優勝は逃してしまいましたが、大変



写真1 Residents Bowl: チームメンバーと。著者は左から3番目。



写真3 Presidents Reception: JUA/AUA 交流プログラムに参加された先生方、および International Programs Specialist の Ms. Abigail Roth と。著者は右から3番目。



写真2 Residents Bowl: 大会中の様子。著者は1番右。

優秀で最高のチームメンバーと一緒に切磋琢磨した経験は、大変刺激になったと同時にかけがえない思い出になりました。

また、今回学会が開催された New Orleans は、ジャズ発祥の地として有名で、街や店内の至る所でジャズが演奏されており、学会場やレセプションイベントでもジャズを楽しむことができました。多種多様な人種や文化を

背景に培われた歴史のあるジャズ発祥の地で、本場のジャズ音楽を堪能できたことが非常に嬉しかったです。

最後になりますが、本交換プログラムにご推薦頂きました当教室の那須保友教授をはじめ、このような機会を与えて下さった日本泌尿器科学会理事長 野々村祝夫教授、国際委員会委員長 市川智彦教授、両泌尿器科学会事務局の方々にこの場をお借りして深謝申し上げます。